

学力向上だより 第6号

(9月1日発行)

文責 学力向上担当 蓮田 健



武雄中学校教育目標
高い志と誇りを持ち、心豊かで
輝く生徒の育成

自主学習に取り組もう!

「自主学習」とは、**あなた自身が学習する内容を選んで取り組む家庭学習**のことです。帰宅してから行う「家庭学習」である点では「宿題」と同じですが、「宿題」は教科担任が課す家庭学習であるという点で、「自主学習」とは異なります。

「自主学習」でめざす皆さんの姿は、次の7つです。

- ①自ら学ぼうとする生徒
- ②深く考えたり、工夫できる生徒
- ③学習の計画が作れる生徒
- ④家庭学習を続けられる生徒
- ⑤友だちと一緒に学ぼうとする生徒
- ⑥自分が好きで、あきらめない生徒
- ⑦勉強を楽しんでやる生徒



つまり、皆さんが「**自立した人**」になれることを、自主学習はめざしているのです。

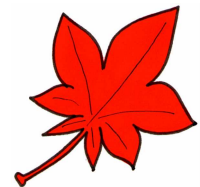
自主学習の3つの約束

自主学習には、とてもシンプルな約束が3つあります。その3つの約束を以下に示します。

1. 「毎日学ぶ」

毎日、少しずつ学習することで、学習する習慣を身につけることができます。学習する習慣を身につけると、次のようないいことがあります。

1. 毎日の努力によって、自分に自信が持て、心が強くなる。
2. 毎日の努力によって、夢に確実に近づく人になれる。



2. 「60分以上学ぶ」

学習する時間は、量ではなく質がとても大切です。テレビを観ながらだらだらと学習していても時間は無駄に過ぎてしまいます。重要なのは、ある一定の時間、集中する力を身につけることです。まずは、「**学習に最低でも60分以上取り組むと決めて集中するための技を身につける**」ことをめざしましょう。

※理想的な学習時間は(学年×15分)以上といわれています。(中1は7年生として計算)

●中1(7)年生=105分 ●中2(8)年生=120分 ●中3(9)年生=135分

3. 「自分から学ぶ」

嫌々やってもなかなか身につかないのが勉強です。「先生に叱られるから勉強する」「親に叱られるから勉強する」のでは、あまり意味のある自主学習とは言えません。「**自分から学ぶ**」ことは、**学びに意味を持たせる、学びを深めるためのスイッチ**なのです。予習や復習をやれば授業への面白さが増し、授業で学習内容がしっかり理解できればテストの結果にも反映されます。そして何よりも、新しい知識を手に入れることが面白くなってくると、どんどん学びの幅が広がっていきます。

今回は、「自主学習ノートの作り方」を紹介します。

※参考『自主学習ノートの作り方』伊垣尚人 著、ナツメ社 刊